



国民の森林・国有林

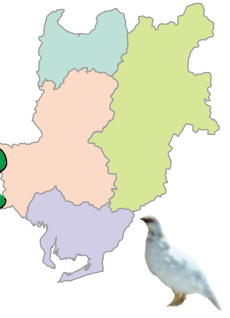
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



1月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



迎春

毛無山（野沢温泉村）から^{せきたさんけい}関田山系を望む（中部森林管理局広報）

主な項目	○ 本局のトピックス（令和2年 年頭のご挨拶～ほか） P1
	○ 各地からのたより（「新年初市」～ほか） P3
	シリーズ「ご当地自慢」（木曾森林管理署「赤沢自然休養林」） P5
	森林のお仕事紹介コーナー
	☆「森林官からの便り」（伊那谷総合治山事業所 飯田治山事業所） P6
	☆「森林・林業界からの便り」（横山木材有限会社） P7
	☆「林業土木業界からの便り」（株式会社加藤工務店） P8
	○ 2月の見どころ聴きどころ P9

〈本局のトピックス〉

令和二年 年頭のご挨拶



公益的機能を高度に発揮させるとともに、林業の成長産業化のため、
国産材の需要拡大と需要者のニーズに応えた安定供給に努めます

中部森林管理局長 吉村 洋

令和初の新春を迎えるに当たり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年、長野県では台風十九号の豪雨により、千曲川流域で大規模な洪水が発生し、多くの尊い命が失われたほか、多数の家屋、農地、森林及びきのこ生産施設等が甚大な被害を受け、被災者の方々は大きな困難に直面しておられるところです。

ここに改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

中部森林管理局におきましても、台風通過後速やかに長野県とも連携しながらヘリコプター等により被害状況を把握し、確認された国有林内の山腹崩壊地や林道の被災箇所については、早急に復旧すべく対応を進

めているところです。

また、林道の被災に伴い木材の供給にも影響が生じているところですが、早期再開や生産箇所の振替等により、極力市場への影響を軽減してまいります。

このような自然の猛威を目の当たりにし、森林の国土保全機能の維持・向上が極めて重要であることを一層強く認識したところです。

また、森林には、国土の保全のほか、水源の涵養、生物多様性の保全、レクリエーションの場の提供など、私たちの安全で豊かな生活のために欠くことのできない公益的機能を有しています。

さらに、森林の恵みである木材は、その利用を通じて、快適で健康的な住環境等の形成や地球温暖化の防止にも貢献するものです。

中部森林管理局では、国民共通の

財産である国有林について、公益的機能を高度に発揮させるための管理経営とともに、関係の皆様と連携して国産材の需要拡大と安定供給に努めてまいります。

この一環として、当局の誇るブランド材である信州プレミアムカラマツ、^(丸)木曾ひのき・東濃ひのき、^(丸)段戸S.A.Nなどについても様々なニーズに応じたきめ細かな供給に努めます。

特に昨年は、大嘗宮の造営に向けて長野県の国有林からカラマツを供給させていただいたことは、国産材全体の信頼向上にもお役に立ったのではないかと考えているところです。

今後とも、これらの取組や、国有林が培ったノウハウの普及を通じて、地域の振興や林業の成長産業化のお手伝いをしてまいりたいと考えています。

森林・林業を取り巻く課題は多々あります。

とりわけ、深刻化する人手不足への対応が急務です。

中部の国有林の管理や木材の供給に当たっては、科学的知見やICTを積極的に活用し、より少ない人数で必要な水準を満たすための様々な取組を実証し、普及してまいりたいと考えています。

我が国では、有史以来、半ば収奪的に森林が利用され、その結果、明治期には各地で地表が露出した山々がみられていました。

戦後、「荒れた国土に緑の晴れ着を」をはじめとする国土緑化運動のスローガンの下、先人の営々とした植林のおかげで、我が国の森林は量的にはかつてなく充実しています。

先人から受け継いだ緑の恩恵を次世代に継承していくため、各県、市町村、関係団体の皆様と連携しながら取り組んでまいります。

最後になりますが、読者の皆様のご健康、ご多幸を心から祈念申し上げますとともに、本年も「中部の森林」をご愛読いただくようお願い申し上げます。

国有林モニター会議を開催

【企画調整課】

十二月十九日、中部森林管理局（長野市）において、二年間の任期の締めくくりとなる国有林モニター会議を開催し、十六名のモニターの皆様に参加いただきました。

会議では、冒頭、総務企画部長から二年間のモニター活動に対する謝辞を述べたうえで、モニターの皆様一人ひとりから、国有林の現地視察への参加や、中部森林管理局からの様々な情報提供、アンケートなど二年間の活動を通してのご意見やご提案をいただきました。

〈本局のトピックス〉

モニターの皆様からは、「国有林は木を伐るだけでなく国土の保全や地球温暖化対策など様々な業務に携わっていることに感心した」、「豊かな森林をしっかり守ってほしい」、「もっと情報発信を上手に行い、教育や観光とも連携して国有林をPRしていくべき」、「学校教育にも森林・林業の



国有林モニター会議の様子

内容が取り入れられるよう働きかけてもらいたい」、「森林の価値をどのように測っていくのか、森林の価値をどう上げていくのか、もっと考えていく必要がある」、「今回のモニターに参加できて大変良かった」など様々な意見とともに、森林経営管理制度や森林環境譲与税に関する質問等がありました。

モニターの皆様様の様々な視点からの貴重なご意見、ご提案に感謝するとともに、いただいた内容については、今後の国有林野の管理経営に活かしてまいります。

**国有林の地域別の森林計画等
検討会委員現地視察を開催**

【企画調整課・計画課】

十一月二十七日、飛騨森林管理局管内の宮・庄川森林計画区（岐阜県・飛騨市、高山市、白川村）において、令和元年度の森林計画について審議を行う学識経験者等有識者で構成される検討会委員八名により、森林共同施業団地（二色中間土場）、造林事業の低コスト化（山中山国有林）、パルプ材の流通拠点（システム販売協定相手方土場）の三箇所を視察しました。



造林事業の低コスト化箇所の視察の様子

各委員からは、それぞれの専門的見地に基づき「民有林・国有林の連携により効率的な森林施業や木材の流通が行える取組を進めてほしい」、「今後、造林地が増加すると野ねずみが増え、苗木の食害が増加する可能性がある」などの意見がありました。



パルプ材の流通拠点の視察の様子

本年度策定、変更を行う地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画については、公告縦覧、関係機関への意見照会、年度末の森林計画検討会での審議を経て、三月末に公表することを予定しています。

森林計画の詳細につきましては、QRコードを読み込んでください。



「新年初市」

【木曾森林管理署】

一月八日、長野県木曾郡上松町の本曾官材市売協同組合本部において、「国有林土場等活用委託販売（以下「土場活」という。）令和元年度 初市」が開催されました。

土場活は年に十三回開催し、天然木曾ヒノキをはじめとし、天然サワラ、高齢級人工林ヒノキのブランドである(高)国木曾ひのき等の販売を行っています。

木曾森林管理署では、毎年一月の初市に向け特別に選別した優良材を「特別選木極」として出品しており、今回は天然林八極・人工林九極の合計十八件（約六十立方メートル）と通常の材と合わせ約二千五百立方メートルを出品しました。

その中でも天然木曾ヒノキ四等材五メートル×七十四センチメートルが一本、四百二十万円、同じく四等材五メートル×五十六センチメートルが百六十万円、(高)国木曾ひのき元玉の極印材四メートル×三十八センチメートルが四万五千円、天然サ



天然木曾ヒノキ4等材 (5m×74cm) 420万円/本

ワラB材五メートル×四十四～五十八センチメートルが四百六十万円と、天然林材、人工林材問わず高値で落札され、初市の販売額は約一億一千万円となりました。 昨今、暗いニュースも多い中、買い方も多く集まり、年初めにふさわしい盛況な市売となりました。 今後も天然木曾ヒノキのみならず「国有林材」の魅力を広め、国産材の供給向上と需要拡大に努めてまいります。

民有林直轄治山事業現場の

住民説明会を開催

【岐阜森林管理署】

十一月十四日、関市板取の「板取川地区民有林直轄治山事業地」で、地元住民への現場説明会を開催し、関係者が大ツゲ谷区域と海ノ溝谷区域の今年度の工事現場を視察しました。



施工七年目の「大ツゲ谷復旧治山工事」現場の様子

大ツゲ谷区域では、施工する山腹工と溪間工について、海ノ溝谷区域では、鋼製柱谷止の施工現場で工事の概要や作業工程の説明を行いました。



鋼製柱谷止（海ノ溝谷区域）を視察

地元の方からは、「どのようにして資材・機材を運んだのか」、「高低差はどれくらいあるのか」、「透明度の高い板取川を楽しむに訪れる観光客が多いことから、濁水対策には万全を期して貰いたい」といった質問や要望があったほか、一九五九年九月に襲来した伊勢湾台風により、大規模な山腹崩壊が発生した当時の濁水等の被害状況を聞くことができました。

今後も地域住民の方々に治山事業をご理解いただくため現場説明会等を通じて、情報発信を行っていきます。

林業成長産業化構想技術者育成研修（中部ブロック研修）

【森林技術・支援センター】

十一月十二日から十五日までの四日間、林業成長産業化構想技術者育成研修が、岐阜県下呂市市民会館並びに七宗国有林において、長野県他六県から十名の受講生が参加して開催されました。

この研修では、「ICT機器等」を活用し、千鈞程度の森林について現況や地形の把握を行い、十年間に実施する主伐や間伐の事業を路網開設と合わせて検討することを目標として、一日目は、QGISにより森林計画図等を表示して演習地の現況を把握し路網の線形を描き、二日目は七宗国有林において、岐阜県立森林文化アカデミーの横井秀一教授から、高齢級林分と若齢級林分の二箇所で講義を受け、それぞれの「森づくり」について科学的知見にたつて班ごとに検討・発表を行い、三日目は現地実習の結果を踏まえ、林業成長産業化に資する地域構想の作成を行いました。

〈各地からのたより〉

最終日には、各班とも三日間の演習の成果を基に創意工夫を凝らした発表と、活発なディスカッションが行われました。

受講生が今回の研修を通じて学んだことを、地域の関係者との合意形成などに発揮していただけるよう今後の活躍を期待します。

注1「ICT」コンピュータやインターネット技術の総称、特に公共サービスの分野において使われる用語
注2「QGIS」地理情報システムの閲覧、編集、分析機能を有するソフト



森づくり実習の様子

間伐体験で

伐採の大変さを体感！

【中信森林管理署】

十一月十日、松本大学生活環境論の受講生三十名が、馬羅尾国有林内の三十四年生ヒノキ人工林で間伐作業を体験しました。

参加者は、職員から、間伐が木材生産だけでなく環境保全のためにも必要であることや、安全に伐採するための注意事項等の説明を受けた後、六人ずつの班に分かれて、伐り始める前に全員で伐倒方向を考え、一人一本を目標に水平に切れているかなどを互いに確認しながら、班全員で協力して作業を行いました。



受け口の斜め切りに奮闘中



伐採した木で円盤作り

伐採木は直径十センチほどでしたが、木にのこぎりが挟まれつつ、悪戦苦闘した作業後には、受講生からは「水平に切るのがとても難しい」「どうしても斜めになってしまおう」「受け口の斜めに切るところがとても大変だった」という感想が聞かれるとともに、自分で切った受け口の切れ端や、伐採した後の木を円盤型にして、お土産に持ち帰っていました。

今回の体験が、受講生にとって林業への興味や森林整備の大切さを知るきっかけになればと思います。



森林セラピー体験の様子



信州木曾・上松町^{あけまつまち}が誇る赤沢自然休養林と健康に関連した話題をご紹介します。
 「森林浴^{しんりんよけ}」は、一九八二年に林野庁が提唱し、その年の秋に赤沢自然休養林で我が国で初めての森林浴大会が開催されたことから、赤沢は森林浴発祥の地として親しまれてきました。

二十一世紀に入って間もなく、森林浴から医学的エビデンスを得た「森林セラピー」が提唱されました。赤沢自然休養林も第一期森林セラピー基地に認定され、現在でも生理実験調査が続けられています。

この森林浴・森林セラピーでは、ストレスの軽減やリラクゼーション効果、免疫機能の向上などが認められています。二〇一八年初夏、世界各地の「Shinrin-yoku」といふ解説本が出版されるに至り、一気に話題となりました。特に皆保険制度が整備されておらず医療費が高額なアメリカなどをはじめ、予防医療に熱心な国々で森

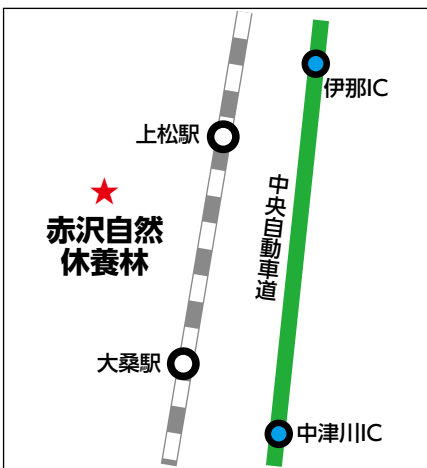
林浴を学び実践したいとのニーズが高まっています。

長野県上松町には赤沢自然休養林の森林浴について、世界各地からお問い合わせや取材依頼が寄せられるようになりました。健康は世界共通のマーケットであり、爽やかな天然ヒノキの香りを楽しめる赤沢が「森林浴発祥の地」として、これからも多様なニーズに応えるべく取り組んでいきます。

◆所在地：長野県木曾郡上松町小川入国営林
 ◆アクセス

【公共交通機関】
 JR中央線上松駅から路線バスまたはタクシー利用約三十分

【自動車】
 中央自動車道中津川ICから国道十九号経由約九十分
 中央自動車道伊那ICから国道十九号経由約八十分



○上松産「えごま」

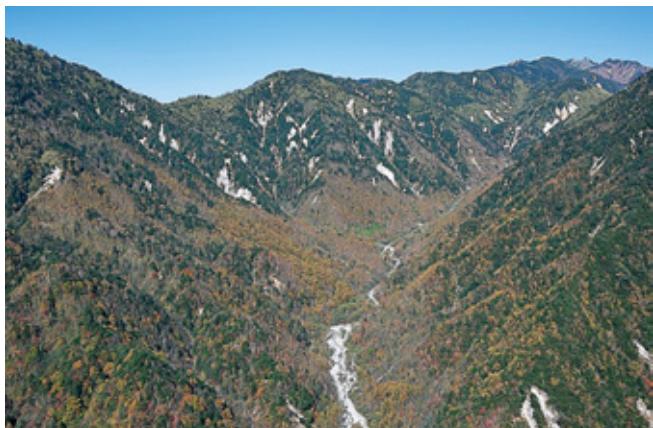
「えごま」は、木曾地域で昔から各家で栽培され、収穫の秋には新米と「えごま」で五平餅を作って食べるのが楽しみでした。また、農業の機械化に伴い、栽培する農家も減少したことから、上松町では十七年ほど前から町の特産にしようと、「上松町特産品開発センター」が中心となり、栽培を進めており、最近の健康志向から、生搾りの「えごま油」は、人気商品となっています。

「えごま」はシソ科の二年草の植物で、縄文時代の遺跡から種子が発見されている日本古来の植物だそうです。シソ科というだけあって葉も花も実も、見た目はシソにそっくりで、鳥獣被害もなく山間地で育ちやすい植物です。作付けが増えたことで遊休農地の解消にも貢献しています。

収穫して実をきれいにする作業は大変ですが、地域では、これからも上松産「えごま」を作り続けたいとのこと。森林浴発祥の地と黄金色の「えごま油」を求めて、是非一度訪れてみてはいかがでしょうか。



えごま油を使用した人気商品



松川入地区 最上流域の荒廃状況

市内に所在し、木曾山脈に源を発
飯田治山事業所は、長野県飯田
事業所
伊那谷総合治山事業所 飯田治山
治山技術官 佐藤 義和
飯田 義和



国有林と言えば現場、現場と言えば
森林官！しかし、一般の方には余り馴染
みがないと思います。
そこで各地にある森林事務所や地域
の特色、森林官の仕事などを紹介して
いきます。



県営松川ダム

する天竜川流域松川上流域の約
五、三、八、四の民有林を事業区域
とする民有林直轄治山事業を
実行しています。
松川入地区民直事業は飯田市民
の上水道水源である県営松川ダム
が、上流域の崩壊地からの土砂流
入によってダム機能の確保が危機
的状况となったことから、地元や
長野県の要請により平成五年度か
ら事業着手し、森林の回復を目的
とした治山工事を継続的に実施し
ています。

近年の山地災害の発生状況から、治山事業の重要性や山地災害危険地区の地域住民への周知が重要であることから、現地見学会等のPR活動にも積極的に取り組むとともに、地域の安心・安全を確保するための治山事業を推進したいと考えています。

事業区域の大半は花崗岩深層風化地帯で、マサ化による侵食が著しい土質であるため、表層剥離型の崩壊地が散在し、区域内の荒廃率は四・三%と非常に高く、山腹工を主体とした復旧工事を行っています。
マサ化した土壌は、ほとんどが強酸性で貧栄養状態であるため、特に緑化工の工種選択が林地への復旧の善し悪しを左右することから、現地の地質に応じた工種について、施工性や経済性を検討することがポイントとなります。過去の施工実績を参考にしつつ、種子配合や施工時期にも配慮しながら、森林への早期復元を目指す治山事業は、成否の結果が短期間で現れるため、やり甲斐のある業務です。



現地見学会の状況 (写真右端が筆者)

■未来の担い手へのメッセージ
近年は局地的豪雨が多発し、土石流などによる甚大な被害が発生しやすい状況となっています。災害を未然防止するためには、治山事業が不可欠であり、森林の持つ水源かん養や山地災害防止などの機能を高度に発揮するために、誇りを持って治山事業に取り組みたいと思います。
治山事業は短期間で成果を実感出来るので、若い人達にも挑戦してもらいたいと思います。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



横山木材有限公司

道善 勝太
(二〇一八年入社)



■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業

業（保育間伐活用型

中信3襟サシ沢

発注者・中信森林管理署

面積五四・三三ヘクタール

搬出予定材積二、五〇〇立方メートル

国有林 六〇%

県有林 一〇%
民有林 二〇%
搬出材積
九、〇〇〇立方メートル〜一〇、〇〇〇立方メートル
現在、女性社員も二名在籍しています。

■現場での役割、魅力

現場では主に集材機、スイングヤーダやウインチ付きグラップルを使った集材作業の荷掛けを行っています。その時の状況によって、どのような仕掛けをすれば効率よく搬出できるのか、試行錯誤を重ねることで知識を深め、次の作業に繋げられるよう心掛けています。



玉切り作業中

林業は危険な仕事ではありませんが、その危険をいかに回避するかを考えつつ作業するのも面白く、緊張感を持った作業ができます。そういった部分も林業の魅力の一つだと私は思っています。また、現場からの景色や空気などに癒されながら仕事をしています。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

林業を始める前は、専門学校で建築の勉強をしていました。木造建築の勉強をしていく中で柱にはスギやヒノキ、梁にはマツなど樹種の特徴によって用途を変えて建設することで多くの樹種が活用されていることを知り、素材自体の生産方法や加工方法などにも興味を持ち、ただ素材として木を伐採し搬出しているという私の以前持っていた林業へのイメージは無くなりました。そして、生産活動の中で行われる、植栽、保育、間伐、伐採などの作業は、土砂災害防止や地球環境保全など多くの役割を担っている重要な産業であると理解し、林業をやりたいと思う

ようになりこの世界に入りました。



伐倒作業中

■未来の担い手へのメッセージ

林業の機械化は進んでいます。まだ人力での作業が多くありますが、自然の中での仕事は大変なこともあります。それ以上にやり甲斐や楽しさを感じることができそうです。

山が好きの方、体を動かすことが好きな方、興味をお持ちでしたら見学会や林業体験会に参加してみてください。

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

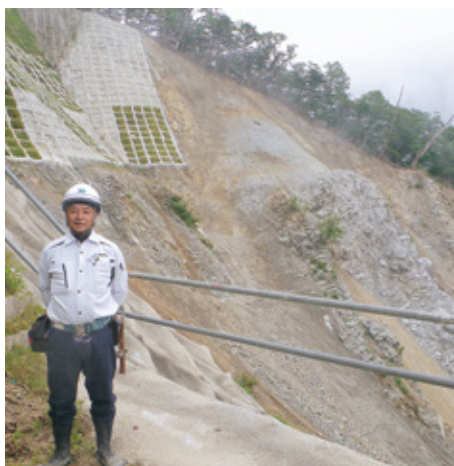
「林業土木業界からの便り」



株式会社 加藤工務店

おおほし かねゆき
大橋 金幸

(二〇〇二年入社)



■事業の概要

請負事業：姥ナギ沢^{うばなぎ}2復旧治山

工事

発注者：東濃森林管理署

本工事は、中津川市恵那山北部の大崩壊地二・五八鈔を簡易法枠

工等により、山腹の復旧をする工事です。

■現場での役割、魅力

ここ姥ナギ沢は大崩壊地ではありませんが、数十年手を掛けた成果が現れて来ていて、今後どのように復旧されていくのか見どころです。

当初は、特殊モルタル吹付工^{ふきつけこう}、練積^{ねづみ}ブロック工、丸太筋工等綺麗な仕上がりで傾注していました。

数十年が過ぎその工事を確認すると、手掛けた構造物は、在来樹木に覆われていて、「これぞ、崩壊地の復旧」と思い知らされる毎日です。

それとともに、国有林の崩壊地を復旧させる仕事は、急峻な山腹で、安全帯を使いながらの工事で、作業従事者の大変さを感じます。

自然という文字は抽象的ですが、森林は人が手をかけてこそ維持されると感じており、自分も少しでもお役に立てればと思います。

今年度はドローン空撮による、

土量の測量を試みています。標高一、二、三〇以上のドローンによる空撮は大変困難ですが、新しいことも取り入れながら、建設業に携わっていきたいと思っています。



ロッククライミングマシンによる掘削の様子

■林業土木の世界に

入ったきっかけ

私が建設業に足を踏み入れたのは、昭和四十九年四月です。土木の高校を卒業以来四十五年間、土木技術者を生業として来ました。中部圏をはじめ関東圏の官民共の工事に従事し、平成十四年からは林野庁、国土交通省等を手掛ける現在の会社にお世話になっております。

■未来の担い手へのメッセージ

今、若い人達には山を護る事、木材について改めて考えてもらいたいと思います。日本の国土面積に占める森林面積は約六六%（約七割）で、先進国の中では有数の森林大国と言われています。森林を護ると言うことは、昨今、頻繁に起こる豪雨災害を減らすことにもつながると思います。森林を見直す人が多く育ってくださることを願います。



完了全景の様子



【上旬】

①1日(2月の毎週土曜日)

大町温泉郷 夢花火と音の祭典

2020 (中信署 大町市)

大町温泉郷では期間中、かまくらやキャンドルライトが会場を彩り、澄んだ夜空に花火が打ち上げられます。

お問い合わせ…大町温泉郷観光協会

②1日～2日 第34回国宝松本城氷彫フェスティバル

(中信署 松本市)

松本の冬を代表する氷の祭典。「全国氷彫コンクール」は、世界大会として六カ国の選手が競い合います。また、ジャンボ滑り台やステージイベントで会場が盛り上がります。

お問い合わせ…松本市役所観光温泉課内

③2日「郡上本染鯉のぼり寒ざらし」

(岐阜署 郡上市)

東殿山国有林の麓を流れる吉田川で冬のモノトーン風景に、赤黄紺と色鮮やかに染め上げられた本染めの鯉のぼりが浮かび上がります。県重要無形文化財指定の四百年以上続く伝統の技をご覧ください。

お問い合わせ…郡上八幡観光協会



④3日 第22回奈良井宿アイスキャンダル祭り

(中信署 塩尻市)

奈良井宿に約1キロメートルに渡り、手作りのアイスキャンドルが二千個以上灯され幻想的な世界を醸し出します。また、お酒や、温かい豚汁のサービスマチやホットワインの振る舞いもあり、クライマックスには花火も打ち上がります。

お問い合わせ…塩尻市観光協会 奈良井宿観光案内所

⑤8日 氷雪の灯祭り

(南木曾支署 南木曾町)

南木曾町妻籠宿で、開催されます。氷雪の灯り祭りとは、手作りのアイスキャンドルや雪像などを使い、木曾路内にある宿場を灯す幻想的なイベントです。

お問い合わせ…妻籠観光協会

⑥8日 大網の火祭り

(中信署 小谷村)

かつて塩の道「千国街道」の荷継ぎ場として賑わった小谷村の大網地区で毎年2月の第2土曜日に開催され、鬼に扮した男たちが姫川太鼓に合わせて五穀豊穡・家内安全を願う踊る伝統行事です。

お問い合わせ…小谷村観光連盟

⑦8日・9日 なべくら高原スノーフエス2020 (北信署 飯山市)

なべくら高原の豪雪を味わう冬の祭典。メーカーから直接スノーシューをレンタルして試乗できちゃうとってもお得なイベント。試乗はもちろん無料！大人から子供まで一緒に楽しめるプログラムやツアー、飲食ブースなど盛り沢山！

お問い合わせ…なべくら高原・森の家

【下旬】

⑧21日～23日 第2回奈良井宿灯明祭り

(中信署 塩尻市奈良井)

奈良井宿街道沿いに「ゆめ灯り絵展」として二〇〇基の切り絵灯が並び「国の重要伝統的建造物保存地区」にも選定されている宿場の古い町並みを演出します。

お問い合わせ…奈良井宿観光協会

⑨23日 みんなが知らない乗鞍岳の世界乗鞍岳調査研究発表会

(飛騨署 高山市)

乗鞍岳の山頂付近は、火山(岩)、化石、植物、動物など、様々な調査研究が行われています。この調査研究の内容を広く皆さんに知っていただき、乗鞍岳のさらなる魅力向上に繋げる発表会です。

お問い合わせ…岐阜県環境生活部環境企画課 自然公園係





⑩3月中旬まで 小坂な冬の滝巡り
 (岐阜県 下呂市)

小坂の滝巡りの厳冬期は、大小の水柱群が連なる水瀑となり、地形、気候を熟知した専門ガイドがご案内します。

スノーシューやスパイクなど専門装備を駆使して進む山行きのため、参加には相応の体力が必要です。

お問い合わせ…小坂の滝めぐり事務局
 電話…〇五七六六二二二二五



昨年の森林技術交流発表会の様子

お知らせ

令和元年度中部森林技術交流発表会開催のご案内

【技術普及課】

中部森林管理局において、参加者間での技術・知識の共有及び情報交換を通じて連携を深め、これら成果の普及と森林・林業の発展に資することを目的として、国有林及び民有林の行政機関、大学・高校、林業事業者等が、日頃から行っている森林・林業に関する試験研究、技術開発、林業体験活動等の取組について発表会を開催します。

開催日時

一月三十日(木曜日) 十時～十六時
 四十五分)、三十一日(金曜日) 十時
 (十三時四十五分)の二日間

開催場所

中部森林管理局三階大会議室

発表課題(予定)

国有林(森林管理署等)

十四課題
 民有林(林業関係団体、大学・高校等) 十一課題
 計 二十五課題

特別発表

「台風十九号災害の被害調査におけるICT技術の活用」
 (長野県林業総合センター)

その他

発表前の時間を利用して、会場内にて、森林鉄道に関する映画の上映、及び林業遺産に関する解説講座を予定しています。

発表会は、自由に傍聴できますのでぜひお越しください。

当日の発表プログラム等、詳細については、QRコードを読み込んでください。

お問い合わせ先

森林整備部 技術普及課
 担当者・技術開発主任官
 電話…〇二六二三二二二二二四



編集長だより あなたの気持ちの一枚!お待ち申し上げます!

新年明けましておめでとうございます。

皆様、初詣など行かれましたか。私は、例年、国有林おさんぽマップ(小菅山風景林コース)で紹介している、飯山市の小菅神社奥社まで、冬山装備にスノーシューを履いて参拝に行っていますが、今年は、雪が少なかったことから、スノーシュー無しで参道を歩くことができました。(小菅神社は、上杉謙信公が、川中島の出兵の際に必勝祈願したと言われています)

中部の森林では、本年も魅力ある紙面作り心掛けて、充実を図っていきます。

皆様の一年が豊かで健やかでありますように。

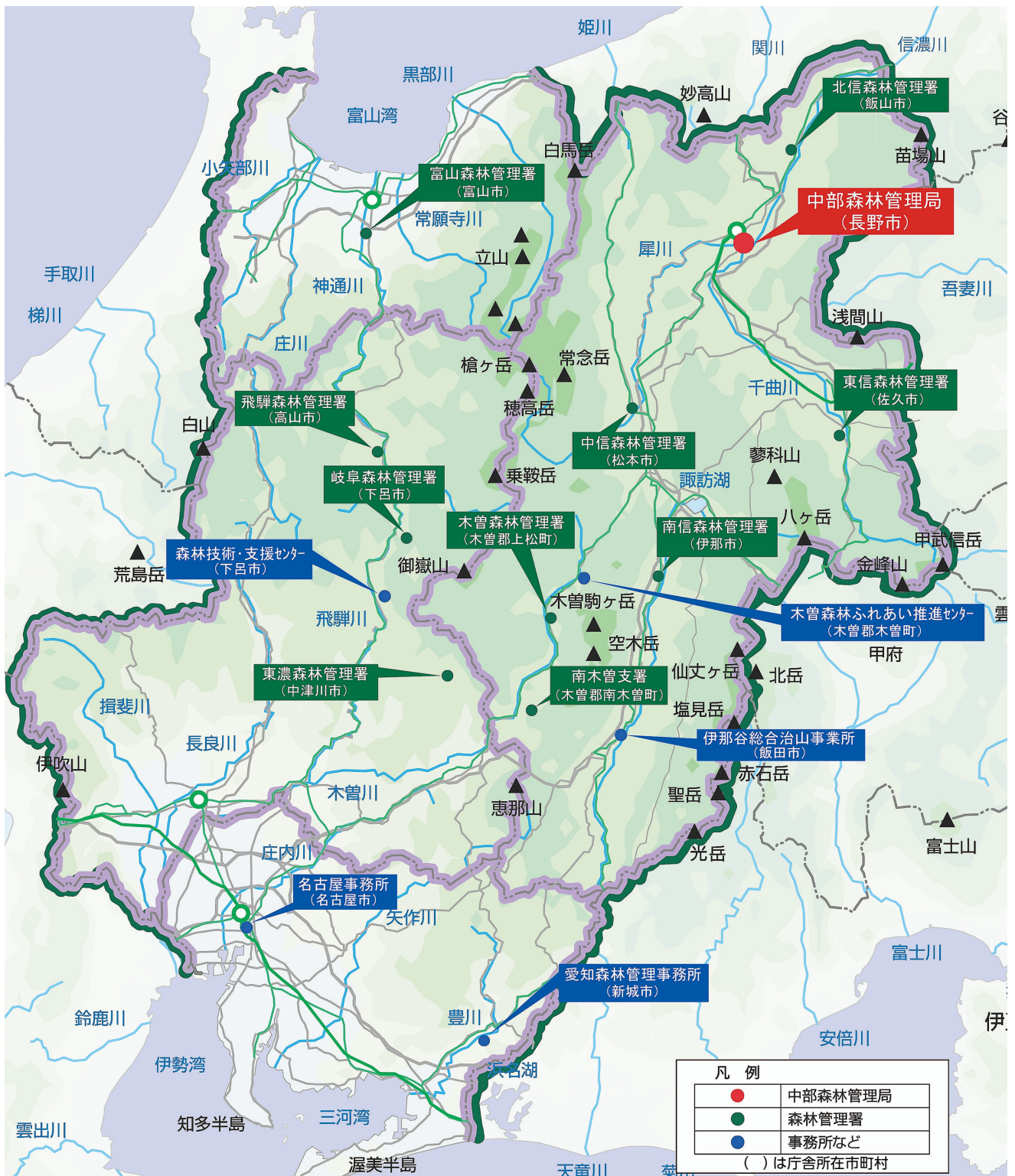
令和2年もよろしくお願いたします。

☆魅力イッパイ国有林などに関する写真投稿を随時募集しています。

ステキな写真が撮れましたら migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

※特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。ご投稿には、氏名またはニックネーム、整理番号(今月なら①～⑩のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。

☆森林でのお仕事紹介コーナーを見て、森林・林業界へのご興味を持っていただけたら幸いです。進路検討中の皆様、お気軽に最終ページのお問い合わせ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149